

# 新日本スポーツ連盟兵庫県卓球協議会 加盟クラブリーグ戦試合規則

## 第1条 名称

本大会の名称は新日本スポーツ連盟兵庫県卓球協議会加盟クラブリーグ戦（略称:加盟リーグ）とする。

## 第2条 目的

日常の練習、トレーニングの成果を発揮する機会として卓球愛好者の誰もが（初心者からベテランまで）参加できる大会として発展させる。その事を通じて卓球の楽しさをより広げ技術向上と交流の場とする。

## 第3条 参加資格

新日本スポーツ連盟兵庫県卓球協議会に加盟する団体（クラブ）、個人とする。

## 第4条 試合

1.団体戦(4S1D、3S2D、2S1D、3D、3D2S)、個人戦(シングル、ダブルス、混合ダブルス)を行なう。

2.クラス分けをつぎの通りとする。

団体戦	男子	A級～E級	女子	A級～E級
シングル	男子	A級～F級	女子	A級～F級
ダブルス	男子	A級～F級	女子	A級～F級
混合ダブルス		A級～F級		

3.試合は年間12回実施することを目標とする。

4.出場クラスの決定

- (1)クラブ・個人の申し出により上の(希望の)クラスからの出場を認めるが、クラブ・個人の力に応じたクラスから出場する事とする。また大会運営部で協議しクラスを変更することがある。
- (2)2回目以降の出場については前回の成績により決定する。その基準は次の通りとする。
  - ①ブロックの成績で一位になれば、次回クラスを一つ上げる。  
ただし、6チーム(人、ペア)リーグ時には、上位2チーム(人、ペア)を上げる事とする。
  - ②ブロックの成績で最下位になれば、次回クラスを一つ下げる。  
但し6リーグ以上(変則含む)は下位2チームとする。
  - ③上記に該当しないクラブ・個人は同じクラスとする。
  - ④棄権した場合は残留とする。
  - ⑤予選リーグにおいて、棄権者が出た場合、そのリーグからはクラス下げは行なわないものとする。但し、他ブロックからの移動があり当初の組合せ数になった場合は、最下位のクラスを下げる。
  - ⑥リーグ戦終了後クラス一覧表を作成し、ホームページに掲載します。  
次回はそれに基づきクラスを正確に記入し申込むこと。
  - ⑦オープン大会と加盟リーグは異なるため、オープン大会の成績はリーグ戦のクラス分けの参考にはしない。
  - ⑧ダブルスのクラス分けについては個人戦のクラス表に基づき二人のクラスで決める。ただし、前回(直前)の加盟リーグ戦において、ブロック優勝ペアは、二人のクラスに関わらず、一つ上のクラスへ出場しなければならない。なお、次回の加盟リーグ戦に出場しなかった場合はその権利(義務)は有しない。

	男子 (G級は女子)	女子
出場クラス	2人のクラス	2人のクラス
A級	A・A A・B	A・A A・B
B級	A・C A・D B・B B・C	A・C A・D B・B B・C
C級	A・E A・F B・D B・E C・C C・D	A・E A・F B・D B・E C・C C・D
D級	B・F C・E C・F D・D D・E	B・F C・E C・F D・D D・E
E級	D・F E・E E・F	D・F E・E E・F
F級	F・F	F・F

## 第5条 順位の決定

リーグ戦での順位は次の通りとする。

### 1.リーグ戦順位決定について

ルール変更に伴い下記の通りとなります。リーグ戦の順位は、そのグループ内での勝者を2点、敗者を1点、不戦敗を0点とした試合得点を与えるものとし、試合得点の高い順に順位が決定する。

- 2.同じグループのリーグ戦で2チーム以上あるいは2選手以上の勝点と同じ場合は、当該チーム間、あるいは当該選手間の勝率で1位を決定する。  
勝率計算の順序は、団体戦の場合はマッチ率・ゲーム率・ポイント率とし、個人戦の場合はゲーム率・ポイント率とする。

具体例1)

2チームあるいは2選手の勝点と同じ場合は、チーム間あるいは両選手間において勝っているチームあるいは選手が1位となる。

	A	B	C	D	勝点	順位
A	—	3-1	2-3	3-0	5	2位
B	1-3	—	3-2	1-3	4	4位
C	3-2	2-3	—	3-1	5	1位
D	0-3	3-1	1-3	—	4	3位

具体例2)

3チームあるいは3選手の勝点と同じ場合は相互間の対戦成績の勝率により決定する。

	A	B	C	D	勝点	順位	勝率
A	—	3-1	3-2	1-3	5	3位	4/5=0.8
B	1-3	—	0-3	2-3	3	4位	
C	2-3	3-0	—	3-2	5	2位	5/5=1.0
D	3-1	3-2	2-3	—	5	1位	5/4=1.25

変則リーグ戦、順位決定について下記の通りとします。  
基本的に2位まで表彰とします。勝点が並んだ場合

- I. 両チーム(者)が、対戦している場合は、対戦チーム(者)の勝者を上位とする。
- II. 両チーム(者)が、対戦していない場合は、対戦チーム(者)を同順位とします。1位の場合は、両チーム(者)に賞品を渡すこととし、次回クラスを一つ上げる。
- III. 各ブロック1位による決勝トーナメントを行う場合、両チーム(者)が対戦せず1位を決められない場合は、全試合のマッチ率(ゲーム率、ポイント率)で順位を決定する。

## 第6条 表彰

各クラス共に団体戦 位、個人戦 位まで表彰する。

1. 団体戦の表彰は、実用的なものとする。
2. 個人戦の表彰はメダル・靴下・タオル・その他とする。

## 第7条 運営

1. 試合の準備、進行については参加者全員が協力して進めていくことを原則とするが、大会ごとに当番制で担当クラブを決め、受付・設営は当番に当たったクラブが行なう。また、決勝トーナメントのさいには、トーナメント責任者を選出し、その責任者の指示により参加者は進行の協力を行う。
2. コート責任者は団体戦・個人戦ともにそのリーグの一番上のチーム・個人が当たり、そのリーグの試合進行をスムーズに進め、終了後試合結果を本部へ報告する。
3. 各大会における試合順序を変更する。第1試合をB-C(2番目と3番目)とする。
4. 審判は、団体戦は相互審判、個人戦はリーグ戦ではプログラム通り、決勝トーナメントについては本部の指名とする。
5. コートのあとかたづけは、決勝戦出場のチーム個人がその試合終了後に行なう。

## 第8条 申し込み・抽選

1. 申し込みは、所定の申込用紙に必要事項を正確に記入し締切日までに申し込む事。
2. 締切日以降の棄権は参加費を支払うこと。

## 第9条 参加費

団体戦	1チーム(基本4人)	4,500円
団体戦	1チーム(基本2人)	2,200円
団体戦	1チーム(基本3人)	3,500円
シングルス	1名	800円
ダブルス	1ペア	1,400円

但し、冷暖房費は含まない金額とします。

## 第10条 その他

1. 大会当日棄権が出た場合、組合せを一部変更することがある。その場合の処理は、大会運営部で決定する。
2. 団体戦においてやむをえず3人で試合を行なう場合でもその試合は有効とする。ただし相手チームにその旨を伝え、オーダーの1番を棄権とする。
3. 大会当日の飛び入り参加の扱いについては、オープン扱いとし、試合の参加は認めるが順位決定の対象としない。なお、参加費は支払うこととする。(順位決定対象外のため賞品は授与されない。)
4. ダブルスの場合は1人が棄権したとき同じクラスの人または下のクラスの人と組んで出場を認めるが、クラスの上の人と組んで出場した場合はオープン扱いを原則とする。
5. 団体戦のチーム編成の扱い
  - (1) 男子団体戦に女子が入る場合の選手数の制限はなしとします。
  - (2) 団体戦においてメンバーが1人足りない場合、他のチームよりクラスの上の人が出場するときは下記の場合のみ出場を認める。  
判断は大会運営部が協議の上決定し、基準は次の通りとする。  
他チームから出場する場合  
応援チームのクラス 応援出場の個人クラス  
A級 A級～E級  
B級 B級～E級  
C級 C級～E級  
D級 D級～E級
  - (3) 同一ラブ内での他チームへの助人、合併チームの場合は、該当チームの上位クラスへ出場することとする。
  - (4) 年度途中においてメンバーの移動などで新チーム編成となる場合のクラスの扱いは、新チームの3強の個人クラスを基に判断する。

(5)男子団体戦への女子の応援クラスの扱いは、1クラス下までとする。

例)個人クラスB級の女子が加盟クラブ男子団体戦に応援で入る場合、男子団体戦C級のチームに制限する。D級以下には出場できない。

6.男子ダブルスに、男子と女子のペアは認める。但し混合ダブルスの種目を実施する場合は、出られない。

男子ダブルスに女子同士は認めない。混合ダブルスも男子と女子のペアに限る。

7.団体戦の出場メンバーの変更・追加は、大会当日に大会運営部に報告すれば出場を認める。

8.服装・マナーについては極力注意する。また、ゼッケンは必ず着用する事。

9.団体戦でのオーダーミスの扱いを下記の通りとする。

(1)ルールに合っていない最初の試合を負けとする。どちらもチーム全体を負けとする扱いはしないこととする。

具体例1) 2D3S団体戦(1番5番ダブルス)

① 1番のダブルスに出場の選手が、2番のシングルに出場：2番のシングルを負けとします。

具体例2) 2D3S団体戦(1番3番ダブルス)

②一人の選手が1番と3番のダブルスに出場：3番のダブルスを負けとします。

## 附 則

2001年	4月改正	
2004年	4月改正	クラスの増設
2005年	4月改正	6変則・7変則リーグ戦の順位決定
2008年	4月改正	年度途中において新チーム編成となる場合のクラスの扱い団体戦のチーム編成の扱い
2010年	4月改正	昇降ルール、オーダーミスの扱い
2013年	4月改正	クラスの表示、ダブルスのクラス分け
2014年	4月改正	参加費、6リーグでの降格の扱い
2015年	4月改正	ダブルス、混合ダブルス参加の扱い
2016年	4月改正	締切日以降の棄権は参加費を支払うこと
2018年	4月改正	クラス分、団体戦4のチーム編成、メンバーが足りない場合